

## 中国の記事から（畜産）

---

2006年12月20日号

### 目次

- ◎伊利集団、広東と山東でアイスクリーム生産ライン建設  
【経済日報 2006年12月11日】
  - ◎テトラパック、国の学生牛乳飲用計画を支援  
【国際商報 2006年12月12日】
  - ◎食肉大手の双匯集団、ゴールドマンサックスらが全株式取得へ  
【国際商報 2006年12月14日】
  - ◎乳業大手のNZフォンテラ社、中国で牧場建設  
【経済日報 2006年12月18日】
  - ◎乳業大手の蒙牛集団、仏ダノンとヨーグルト合併会社設立へ  
【経済日報 2006年12月19日】
- 

- ◎伊利集団、広東と山東でアイスクリーム生産ライン建設  
【経済日報 2006年12月11日】

乳業大手の内モンゴル伊利実業集団股分有限公司（伊利集団）は6日、第5回取締役会臨時会議で決定した投資計画を発表。広東省佛山市山水区と山東省平陰県済西工業パークで1日150トン規模のアイスクリーム生産ラインをそれぞれ建設していくことを明らかにした。佛山市山水区での投資額は1億1396万元、平陰県での投資額は1億154万元、工期はいずれも9ヵ月。

また、河南省平頂山市源源乳業有限公司との合併により、1日100トン規模のヨーグルト、150トン規模の牛乳生産ラインも建設していく。建設地は河南省平頂山市宝豊県石橋鎮、固定資の投資額は6800万元、伊利集団が3315万元を出資する。これら計画の投資額は計2億5千万円に上る見込み。さらにモンゴルでも50万ドルを投じて乳製品メーカーを設立していく計画である。

---

- ◎テトラパック、国の学生牛乳飲用計画を支援  
【国際商報 2006年12月12日】

食品包装大手のテトラパック(利楽)は、2006～2010年の間、1億元を投じて国の「学生牛乳飲用計画」(小学生に毎日牛乳1パックを飲用させる)を支援していく方針を明らかにした。同社は国と協力して関連トレーニングを行うほか、牛乳品質の向上、「学生牛乳飲用計画」で飲用される牛乳の品質管理体系の整備などに力を入れていく。同社は1992年から中国の学生牛乳飲用事業を支援している。「学生牛乳飲用計画」は2000年、農業部、国家発展改革委員会、教育部、財政部、衛生部、国家質量監督検閲検疫総局(製品の品質を管理)など国の機関の支援を受けてスタート。現在までに全国60都市の1万校で実施され、1日に240万人分の牛乳が供給されている。

---

### ◎食肉大手の双匯集団、ゴールドマンサックスらが全株式取得へ

【国際商報 2006年12月14日】

食肉大手、河南双匯投資発展股分有限公司(S双匯)は9日、同公司親会社・双匯集団の株式を有する河南省ラ河市国有資産監督管理委員会が持株100%を20億1千万元で香港羅特克斯有限公司に売却することが商務部の認可を得たことを明らかにした。双匯集団は外資全額出資会社となる。また、河南省ラ河市海寧市投資有限公司(S双匯の第二位株主)の持株売却も認可され、S双匯を外資投資股分有限公司とすることも認められた。現在、中国証券監督管理委員会(証監会。CSRC)の最終認可を待つのみ。

香港羅特克斯有限公司は、ゴールドマンサックスの現地法人・高盛策略投資(亞洲)有限責任会社が51%を、鼎暉Shine有限公司が49%を出資する合弁会社。双匯集団は食肉最大手で、年間にブタ1500万頭を加工、冷凍肉・肉製品販売量は180万トン、総資産は63億元、従業員数3万人、2005年売上は200億元を超えている。

---

### ◎乳業大手のNZフォンテラ社、中国で牧場建設

【経済日報 2006年12月18日】

中国の乳業大手・石家庄三鹿集団股分有限公司(三鹿集団)の株式の43%を所有する世界的な乳業大手、ニュージーランドのフォンテラ社(恒天然)は、中国で牧場を建設していく方針を明らかにした。三鹿集団の発展を支援していく。現在、中国政府関係部門と用地に関する協議を進めている。牧場は乳牛3千頭を飼育、2007年10月から供用開始を予定している。中国の乳業は急成長しており、全国の牛乳年産量は現在の220億リットルから7年後には400億リットルに増加すると予測されている。

フォンテラ中国のメジャー(梅傑)総裁は、「中国では牛乳消費需要も力強い。われわれはニュージーランドから新製品を導入すると同時に、中国市場の需要に対応する高品質製品を中国国内で生産していく」と語っている。牧場で生産した牛乳は三鹿集団のみに供給していく。フォンテラ社は2005年末、三鹿集団株式の43%を8億6400万円で取得、中国乳製品市場に進出を果たした。

---

### ◎乳業大手の蒙牛集団、仏ダノンとヨーグルト合弁会社設立へ

**【経済日報 2006年12月19日】**

中国の乳業大手・蒙牛乳業集団、乳業世界的大手・仏ダノン(達能)は18日、合弁会社を設立すると発表した。出資比率は蒙牛乳業集団51%、ダノン49%、ヨーグルトをはじめとする製品の開発、生産、販売を行っていく。合弁会社はダノンの世界トップクラスのヨーグルト生産技術・プロセスと蒙牛乳業集団の全国を網羅する販売網を一体化するものと注目される。蒙牛乳業集団の牛根生・董事長は「外国メーカーとの提携に際しては、

1. パートナーは業界トップランナーであること
2. わが社が半数以上を出資すること

という原則がある。わが社販売額全体におけるヨーグルトの割合は20分の1とまだ小さいが、われわれは半数以上を出資し議決権を確保する」と語っている。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により  
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て  
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。